

第40期中間事業報告書
平成12年4月1日～平成12年9月30日

株式会社島精機製作所



Message

from the President

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第40期中間期(平成12年4月1日から平成12年9月30日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期におきましては、国内市場ではニット・アパレル業界をとりまく環境は依然として厳しく、設備投資は引き続き低迷した状況が続きました。一方、海外市場ではイタリアを中心にヨーロッパはおおむね堅調に推移し、アジア地域では韓国・香港が前期からの好調を維持し、また中東地域の中心であるトルコも回復に転じました。

その結果、当中間期の売上高は、191億93百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

利益面につきましては、ユーロ安及び競争激化による販売単価の低下の影響はありましたが、生産・販売体制の合理化、効率化、コストダウンを積極的に推進した結果、営業利益は22億84百万円(前年同期比37.1%増)となりました。経常利益は、為替差損15

億97百万円の発生はありましたが、前期と比べ減少したことにより、11億5百万円(前年同期比15億15百万円増)となりました。また中間利益は、時価会計の導入に伴う有価証券評価損等を特別損失として計上したことにより3億78百万円(前年同期比5億67百万円増)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前年中間期同様1株につき15円とさせていただきます。

今後におきましても、全体として厳しい経営環境が続くものと思われませんが、そのなかで当社は、創業以来の創造力を発揮して、技術的な差別化をさらに進めるとともに、経営全般にわたる一層の合理化・効率化を推進し、業績の向上と経営体質の強化ならびにユーザー業界の活性化に全力を傾注する所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

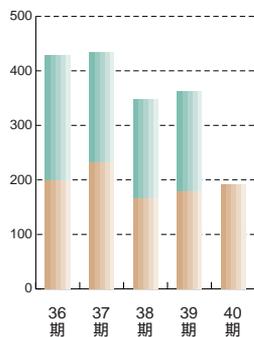
平成12年12月

代表取締役社長

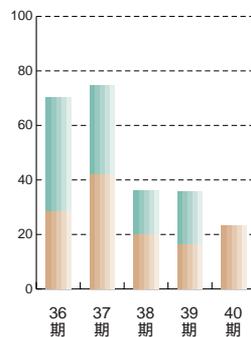
業績の推移

	当中間期 (平成12年9月期)	前中間期 (平成11年9月期)	前 期 (平成12年3月期)
売上高(百万円)	19,193	18,063	36,136
営業利益(百万円)	2,284	1,666	3,566
経常利益(百万円)	1,105	409	138
中間当期利益(百万円)	378	188	485
1株当中間当期利益(円)	10.08	4.76	12.45
総資産(百万円)	94,432	96,659	93,548
純資産(百万円)	81,751	87,095	82,244

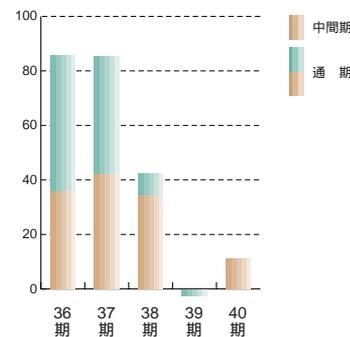
売上高 (単位: 億円)



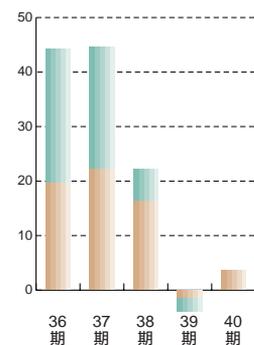
営業利益 (単位: 億円)



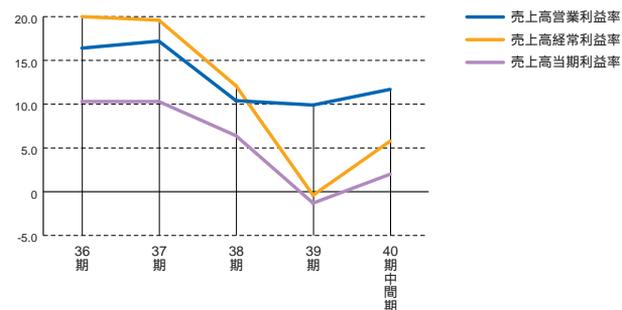
経常利益 (単位: 億円)



当期利益 (単位: 億円)



(単位: %)



トピックス

新しい魅力のあるニット ホールガーメント™

これまでのニットウェアは、裁断や縫製などの工程が必要でした。しかし、当社の独自技術により世界に先駆けて開発された無縫製ニットホールガーメント™では最初からセーターなどの形に編み上げるため、さまざまなメリットとそれによる新たな市場を生み出しています。

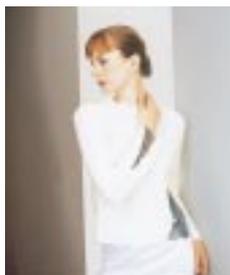
まず、縫製などの後工程が不要なため、ニット生産のリードタイムの大幅な短縮ができるだけでなく、消費地で生産することで、消費者のニーズやトレンドを迅速かつ的確に捉えたニット商品の企画・生産・販売を行えます。このように、ホールガーメント™は大きな消費マーケットを持つ先進国でのニット生産に適しているといえます。また、縫い目がないため、



軽やかな風合いで着心地の良いニット商品に仕上がることにも特長のひとつです。

さらに、ホールガーメント™は単に無縫製というだけでなく、手編みや従来の編機ではできなかった、まったく新しい魅力をそなえたニットファッションを生み出せるため、多様な消費者ニーズにも十分に答えることができます。

そして、縫い代や編地を切って捨てることもなく、原材料を有効に利用できるため、省資源・省エネルギーにも寄与する、地球にやさしいニットとすることができます。





ファッション業界のIT化推進

消費地でのアパレル生産をサポートするため、当社では、IT(情報技術)機能を拡充させた新発売のSDS・ONEを軸に、ファッション業界へ向けた魅力ある提案を行ない、顧客満足度の向上に努めています。

クイック・レスポンスの確立や、生産・販売の効率化など、ファッション業界のさまざまな課題の解決に寄与するために、商品の企画・デザインから生産・販売促進だけでなく、流通・小売までをひとつの流れとして捉え、一元化したハード、ソフト、ノウハウを、顧客のニーズやスタイルに合わせて提供しています。

こうした一例として、本年オープンした東京・大阪のコミュニケーションスペースでは、当社の専門

スタッフが、ALL in ONEコンセプトのもとでSDS・ONEを活用した新しいモノづくり・新しいビジネスのあり方を提案しています。あわせて**ホールガーマ**

ント™をはじめ、他社にはない技術を活用した新しいニットファッションの情報を発信することで、さらなるビジネスチャンスの拡大を目指しています。



Operational Review

営業活動のご報告

横編機部門

海外市場におきましては、最大の輸出国であるイタリアを中心にヨーロッパはおおむね好調に推移し、またアジア諸国では韓国・香港が順調で、中東地域の中心であるトルコは前期までの不振から回復しました。

一方、国内市場におきましては業界全体を取り巻く環境は依然として厳しいものの、ホールガーメント™(無縫製ニット)をニット・アパレル業界に深く浸透させるために、FIRSTシリーズを中心に積極的に提案したことにより、新しいモノづくりに取り組むユーザーに設備投資回復の兆しが見え始め、下期に期待をつなぐ結果となりました。

横編機部門全体としては、海外市場の好調により、

数量ベースでは過去最高の出荷台数を達成しましたが、ユーロ安及び価格低下の影響を受け、当中間期における売上高は145億38百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

SWG
FIRST
多機能コンピュータ横編機



デザインシステム部門

デザインシステムにつきましては、ホールガーメント™を中心とした、21世紀にふさわしいモノづくりに対応したデザインシステムSDS・ONEを開発し、ALL in ONEコンセプトのもとニットデザインからアパレル企画、生産、販売、流通に至るコミュニケーションツールとして、ファッション産業のIT化の中核システムとなるよう販売活動に注力しました。その結果、高機能、操作性の良さなどが評価され、売上高は10億6百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

ONE
デザインシステム



手袋靴下編機部門

手袋靴下編機につきましては、中国、韓国などのアジア諸国が顕著な伸びを示し、また、アメリカ市場も回復に転じたことにより、当中間期における売上高は22億45百万円(前年同期比209.0%増)と大幅な増加となりました。

NewSFG
シームレス手袋編機



国内市場の活性化へ向けて

厳しい経済状況が続く国内市場の活性化へ向けたアプローチとして、東京・大阪に新設したコミュニケーションスペースの活用があげられます。ニットメーカーだけでなくアパレル・小売業界も対象にして、ホールガーメント™をはじめ、デザインシステムSDS・ONEを核としたファッション産業のIT(情報技術)化の推進を提案することで、業界の活性化に貢献してまいります。



用途が広がる手袋編機市場

当社の手袋編機は、80%余りの圧倒的な世界シェアを有しています。特に近年、作業用手袋の消費は欧米における作業安全基準の見直しなどで堅調に推移しており、あわせてアジア地域では自国消費向けとしての需要も増加しています。

今後は、従来の作業用だけでなく、医療用や精密作業用など、高度な編成技術や特殊糸を使用した高付加価値の手袋へとその用途を広げ、新しい市場を創造していきます。



これからの展開

海外市場を中心とした販売台数の伸びは、当社製品のシェアを高めるだけでなく、今後のより積極的な販売展開へ向けての重要なステップと考えております。

当社が推し進めるホールガーメント™を中心とした新しいモノづくりを国内外へ浸透させるために、技術サポート体制やノウハウの提案などをさらに充実させ、その結果、FIRSTをはじめとする新製品の販売につなげ、業績の改善・向上に努めます。



Financial Data

財務データ

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成12年9月30日現在	平成11年9月30日現在	平成12年3月31日現在
流動資産	54,878	57,763	55,429
現金及び預金	5,682	6,635	6,487
受取手形及び売掛金	39,054	38,461	36,934
有価証券	197	1,163	1,187
たな卸資産	9,557	10,872	10,091
繰延税金資産	202	257	489
その他	399	563	420
貸倒引当金	215	190	182
固定資産	39,554	38,895	38,119
有形固定資産	29,570	29,263	28,731
建物及び構築物	6,619	7,269	6,907
土地	20,225	20,156	20,075
その他	2,725	1,838	1,748
無形固定資産	104	76	71
投資等	9,879	9,554	9,316
投資有価証券	3,798	3,315	2,976
子会社株式及び子会社出資金	3,716	3,548	3,717
長期貸付金	567	762	835
長期繰延税金資産	376	62	58
その他	2,294	2,083	2,720
貸倒引当金	874	218	990
資産合計	94,432	96,659	93,548
流動負債	11,606	8,727	10,433
支払手形及び買掛金	5,681	5,977	5,090
短期借入金	2,880		2,523
賞与引当金	703	770	600
その他	2,341	1,978	2,219
固定負債	1,075	836	871
退職給与引当金		836	871
退職給付引当金	1,075		
負債合計	12,681	9,563	11,304
資本金	14,859	14,859	14,859
法定準備金	23,692	23,532	23,592
剰余金	43,319	48,703	43,792
その他有価証券評価差額金	119		
資本合計	81,751	87,095	82,244
負債及び資本合計	94,432	96,659	93,548

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで	平成11年4月1日から 平成11年9月30日まで	平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで
売上高	19,193	18,063	36,136
売上原価	12,460	11,761	23,042
売上総利益	6,733	6,302	13,094
販売費及び一般管理費	4,448	4,635	9,527
営業利益	2,284	1,666	3,566
営業外収益	597	575	1,204
受取利息及び配当金	434	335	616
その他	163	240	587
営業外費用	1,776	2,651	4,908
支払利息及び割引料	88	57	140
為替差損	1,597	2,490	4,530
その他	90	103	237
経常利益又は経常損失()	1,105	409	138
特別利益	11	297	384
特別損失	529	287	1,149
税引前当期利益又は税引前当期損失()	586	398	903
法人税、住民税及び事業税	153	7	28
法人税等調整額	54	217	445
当期利益又は当期損失()	378	188	485
前期繰越利益	2,105	966	966
過年度税効果調整額		103	103
利益による自己株式消却額			3,960
中間配当額			593
中間配当に伴う利益準備金積立額			59
当期未処分利益又は当期未処理損失()	2,484	881	4,029

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表の注記 (当中間期) (前中間期) (前 期)

- 有形固定資産の減価償却累計額 16,837百万円 16,156百万円 16,604百万円
- 保証債務 7,329百万円 9,008百万円 8,200百万円

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成12年9月30日現在	平成11年9月30日現在	平成12年3月31日現在
流動資産	59,158	62,560	59,813
現金及び預金	8,356	9,590	9,362
受取手形及び売掛金	38,403	38,324	36,254
有価証券	197	1,173	1,197
たな卸資産	11,317	12,732	12,064
繰延税金資産	536	423	749
その他	640	596	456
貸倒引当金	294	279	272
固定資産	39,114	38,941	37,721
有形固定資産	31,054	30,793	30,230
建物及び構築物	7,172	7,892	7,471
土地	20,461	20,344	20,310
その他	3,419	2,556	2,448
無形固定資産	116	84	79
投資その他の資産	7,943	8,063	7,411
投資有価証券	3,994	3,507	3,163
長期貸付金	267	502	535
繰延税金資産	668	458	392
その他	3,895	4,569	4,309
貸倒引当金	882	974	989
為替換算調整勘定		172	511
資産合計	98,272	101,673	98,046
流動負債	11,846	9,725	10,857
支払手形及び買掛金	5,359	6,350	5,088
短期借入金	2,910	30	2,553
賞与引当金	826	901	708
その他	2,749	2,442	2,506
固定負債	1,234	984	1,010
退職給与引当金		950	990
退職給付引当金	1,228		
その他	6	34	19
負債合計	13,081	10,709	11,867
少数株主持分	223	187	221
資本金	14,859	14,859	14,859
資本準備金	21,724	21,724	21,724
連結剰余金	49,010	54,194	49,374
その他有価証券評価差額金	119		
為替換算調整勘定	507		
自己株式	0	1	0
資本合計	84,967	90,776	85,957
負債、少数株主持分及び資本合計	98,272	101,673	98,046

連結損益及び剰余金結合計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで	平成11年4月1日から 平成11年9月30日まで	平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで
売上高	19,868	18,857	36,806
売上原価	12,300	11,405	22,219
売上総利益	7,567	7,452	14,587
販売費及び一般管理費	4,926	5,185	10,542
営業利益	2,641	2,267	4,044
営業外収益	353	359	932
受取利息及び配当金	279	196	505
その他	73	163	427
営業外費用	1,718	2,665	4,725
支払利息	89	59	143
為替差損	1,564	2,529	4,396
その他	64	76	186
経常利益	1,275	38	250
特別利益	11	344	404
特別損失	557	313	1,177
税金等調整前当期利益又は当期損失	729	7	521
法人税、住民税及び事業税	306	218	304
法人税等調整額	32	55	390
少数株主利益	2	1	0
当期利益又は当期損失	388	168	434
連結剰余金期首残高	49,374	55,184	55,184
期首残高	49,374	54,419	54,419
過年度税効果調整額		765	765
連結剰余金減少高	751	821	5,375
配当金	751	791	1,385
役員賞与		30	30
(うち監査役賞与)	()	(4)	(4)
利益による自己株式消却額			3,960
連結剰余金期末残高	49,010	54,194	49,374

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結貸借対照表の注記	(当中間期)	(前中間期)	(前 期)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	19,059百万円	18,294百万円	18,762百万円
2. 保証債務	7,322百万円	9,032百万円	8,199百万円

Stock Information

株式の状況(平成12年9月30日現在)

大株主

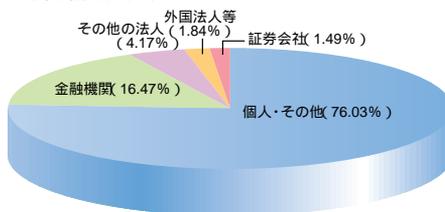
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
島 正 博	5,780	15.37
後 藤 明 史	2,890	7.68
島 三 博	1,980	5.26
株式会社三和銀行	1,428	3.79
島 節 子	1,223	3.25
シマセイキ社員持株会	1,184	3.15
島 和 代	806	2.14
住友信託銀行株式会社	743	1.97
後 藤 ひろみ	722	1.92
和島興産株式会社	700	1.86

(注)住友信託銀行株式会社の当社株式持株数には、信託業務にかかる株式が含まれております。

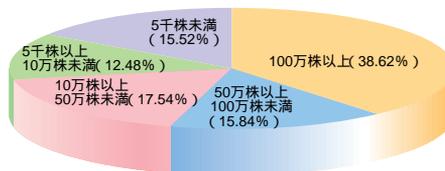
株式の状況

会社が発行する株式の総数 142,000,000株
 発行済株式の総数 37,600,000株
 当中間期末株主数 15,200名

所有者別分布



所有数別分布



株主優待のお知らせ

当社では毎年3月末日と9月末日を基準日として、単位株主様に株主優待を実施しております。本年3月期の株主様には特別企画品としてイタリア・ワインをお届けいたしました。今回、9月期の株主優待として、当社グループ企業が経営する南紀白浜^{ホテル}「HOTEL MARQUISE^{マークイズ}」のペア宿泊優待割引券(正規料金の30%引)を進呈いたします。

発行基準		有効期間
100株以上	2枚	平成13年12月30日まで
1,000株以上	4枚	(但し、12月31日～1月2日、7月30日、8月10日～8月13日を除く)
3,000株以上	6枚	



和洋会席料理「冬の結晶」



会社概要 (平成12年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社 島精機製作所
英訳名	SHIMA SEIKI MFG.,LTD.
本社	和歌山市坂田85番地
創立	昭和37年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員	1,061名
事業内容	コンピュータ横編機 シームレス手袋編機、靴下編機 コンピュータデザインシステム ニットCADシステム アパレルCAD / CAMシステム

役員

役名	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	島 正 博	
常務取締役	田 中 雅 夫	経理部長
常務取締役	村 元 勝	輸出部長
取締役	岩 倉 煌 一	企画部長
取締役	京 谷 実	生産技術部長兼システム生産技術部長
取締役	古金谷 伸 二	総務部長
取締役	有 本 博 行	資材部長
取締役	大 川 修	営業部長
取締役	森 田 敏 明	メカトロ開発部長
取締役	和 田 隆	製造技術部長
常勤監査役	巽 安 弘	
監査役	志 岐 正 純	
監査役	的 場 悠 紀	弁護士

(注) 監査役 的場悠紀は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所

本社	和歌山市坂田85番地
支店	東京支店(東京都中央区) 大阪支店(大阪市北区) 名古屋支店(名古屋市中区) 泉州支店(大阪府泉大津市)

営業所	山形営業所(山形県山形市) 福島営業所(福島県伊達郡保原町) 新潟営業所(新潟県五泉市) 甲府営業所(山梨県中巨摩郡昭和町) 四国営業所(香川県大川郡白鳥町)
海外支店	台北支店

株 主 メ モ

決 算 期	毎年3月31日
配当金受取株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
基 準 日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ 公告して定めます。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
株 式 事 務 取 扱 場 所	
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 東洋信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 東洋信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
同 取 次 所	東洋信託銀行株式会社全国本支店

SHIMA SEIKI

株式会社島精機製作所
和歌山市坂田85番地



地球環境に配慮した再生紙を使用しています。